

出資法人等経営状況報告書

1 作成年月日及び担当部署

作成年月日	令和3年8月24日	担当部署	産業観光交流部 施設経営管理室
-------	-----------	------	-----------------

※以下は令和3年3月31日現在の内容です。

2 法人等の概要

法人名	リフレ上越山里振興 株式会社		
代表者	代表取締役 平井 民夫		
	<input type="checkbox"/> 常勤	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤	<input checked="" type="checkbox"/> プロパー <input type="checkbox"/> 市兼務 <input type="checkbox"/> その他
所在地	新潟県上越市大字皆口 601 番地		
設立年月日	平成10年12月18日		
資本金	6,000 千円	市出資割合	87.8%
設立目的	食と健康をテーマとしたリフレッシュビレッジ事業を通して、市民の財産ともいえる上越市西部中山間地の緑豊かな自然を活用し、地域農林水産業の活性化を図るため。		
主な事業	(1) くわどり湯ったり村、ヨーデル金谷、ゆったりの家管理運営 (2) 文化振興に関する事業 (3) 観光広告及び宣伝に関する事業		

3 役員数

(単位：人)

	常勤	非常勤	計	内訳		
				プロパー	市兼務	その他
取締役	1	8	9	1	0	8
監査役	0	1	1	0	0	1
計	1	9	10	1	0	9

4 職員数

(単位：人)

	計	内訳	
		プロパー	市兼務
正社員	10	10	0
その他	13	13	0
計	23	23	0

5 事業実績（概要）

【第24期の経営状況】

- ・ 第24期の売上高は、前期と比較して55,042千円減（34.1%の減）の106,203千円となりました。新型コロナウイルス感染症の拡大により、宿泊や日帰り温泉の利用者数が減少したことや施設を休館したことなどが影響しました。これに伴い、売上原価や販売費及び一般管理費も減少したものの、営業利益は△15,874千円に留めることができました。
- ・ 一方で、雇用調整助成金や持続化給付金等の各種助成金の給付があったことから、経常利益は6,793千円を計上しました。
- ・ 最終的な当期純利益は、3期連続の単年度黒字となる5,910千円を計上し、第24期末の繰越利益剰余金は△51,391千円となりました。

【第24期の主な取組内容】

(1) くわどり湯ったり村

- ・ GoTo トラベルキャンペーンのほか、新潟県や上越市の利用補助制度を活用し、誘客を図った。
- ・ レストランの季節メニュー・日替わりメニューの拡充し、利用者数の増加を図った。
- ・ 雇用調整助成金を活用するなど損失額の縮減に努めた。

(2) ヨーデル金谷

- ・ 的確な感染症対策の実施と対策優良店として認知を向上させた。
- ・ テイクアウト商品を発売し、売上増加を図った。
- ・ 価格の改定による利益率を改善させた。

【各施設の実績】

(1) 利用者数

（単位：人）

施設名	第22期 (H30.4~H31.3)	第23期 (H31.4~R2.3)	第24期 (R2.4~R3.3)
くわどり湯ったり村	48,744	44,038	22,361
ヨーデル金谷	23,406	22,539	16,869
ゆったりの家	1,176	888	104
合計	73,326	67,465	39,334

(2) 損益状況

（単位：千円）

施設名	区分	第22期 (H30.4~H31.3)	第23期 (H31.4~R2.3)	第24期 (R2.4~R3.3)
くわどり湯ったり村	売上高	111,637	101,731	63,829
	経常利益	2,705	4,615	4,103
ヨーデル金谷	売上高	56,087	58,676	41,544
	経常利益	1,064	4,055	2,674
ゆったりの家	売上高	1,972	838	830
	経常利益	287	71	△15
合計	売上高	169,697	161,245	106,203
	経常利益	4,057	8,740	6,762

※ 端数処理の関係上、合計額が一致しない場合があります。

6 財務状況（税抜）

（単位：千円）

項目	第22期	第23期	第24期	
	自平成30年4月1日 至平成31年3月31日	自平成31年4月1日 至令和2年3月31日	自令和2年4月1日 至令和3年3月31日	
損益計算書	売上高	169,697	161,245	106,203
	売上原価	46,823	43,761	26,460
	売上総利益	122,874	117,484	79,743
	販売費及び 一般管理費	119,705	111,875	95,616
	営業利益	3,169	5,609	△15,874
	営業外収益	2,056	4,118	23,560
	営業外費用	1,168	986	923
	経常利益	4,057	8,740	6,763
	特別利益	0	0	0
	特別損失	0	0	777
	税引前当期純利益	4,057	8,740	5,986
	法人税等	1,789	70	76
	当期純利益	2,268	8,670	5,910
項目	平成31年3月31日現在	令和2年3月31日現在	令和3年3月31日現在	
貸借対照表	資産	23,043	24,227	26,614
	負債	83,015	75,529	72,006
	純資産	△59,972	△51,302	△45,391
	資本金	120,000	6,000	6,000
	利益剰余金	△179,972	△57,302	△51,391
その他	0	0	0	

※ 金額については、千円未満を四捨五入して表示しており、端数処理の関係上、決算書及び計算結果と一致しない場合があります。

7 市からの財政支出等

(1) 委託額 (税込)

(単位：千円)

内訳		平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
①	指定管理料 (※1)	44,418	42,933	42,933	
②					
計		44,418	42,933	42,933	

※1 リフレッシュビレッジ施設 (くわどり湯ったり村、ヨーデル金谷、ゆったりの家) の合計額

(2) 財政援助額 (税込)

(単位：千円)

内訳		平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
①	補助金 (助成金)	0	0	0	
②	貸付金	0	0	0	
③	損失補償 (※2)	39,967	39,915	39,901	借入限度額 40,000 千円
④	債務保証	0	0	0	
⑤	その他	0	3,502	0	指定管理減収補填金
		2,218	1,764	780	シニアバスポート減免補填金
計		42,185	45,181	40,681	

※2 金額は、対象となる借入金の各事業年度の期末残高

8 今後の経営計画等

(1) 次期事業計画

売上高 86,500 千円、経常利益 2,983 千円の計上を目標に掲げ、次に挙げる事案などに取り組み、市民から親しんでもらえる施設運営を目指す。

- ① 会社全般
 - ・ 各業種のガイドラインに沿って新型コロナウイルス感染症予防対策を実施する。
 - ・ 地域の一員として自覚を持ち、地域社会に貢献できる会社を目指す。
- ② くわどり湯ったり村
 - ・ 地域の特色を活かしたメニューの開発、テイクアウトメニュー等にも積極的に取り組む。
 - ・ 宿泊プランの見直しや、バーベキュー・オートキャンプ場など新規事業に取り組む。
- ③ ヨーデル金谷
 - ・ メニューの絞り込みによる生産性の向上と価格改定による原価率改善。
 - ・ 新規に導入したコンベクションオープンを利用した製菓等の販売。

(2) 中長期経営計画

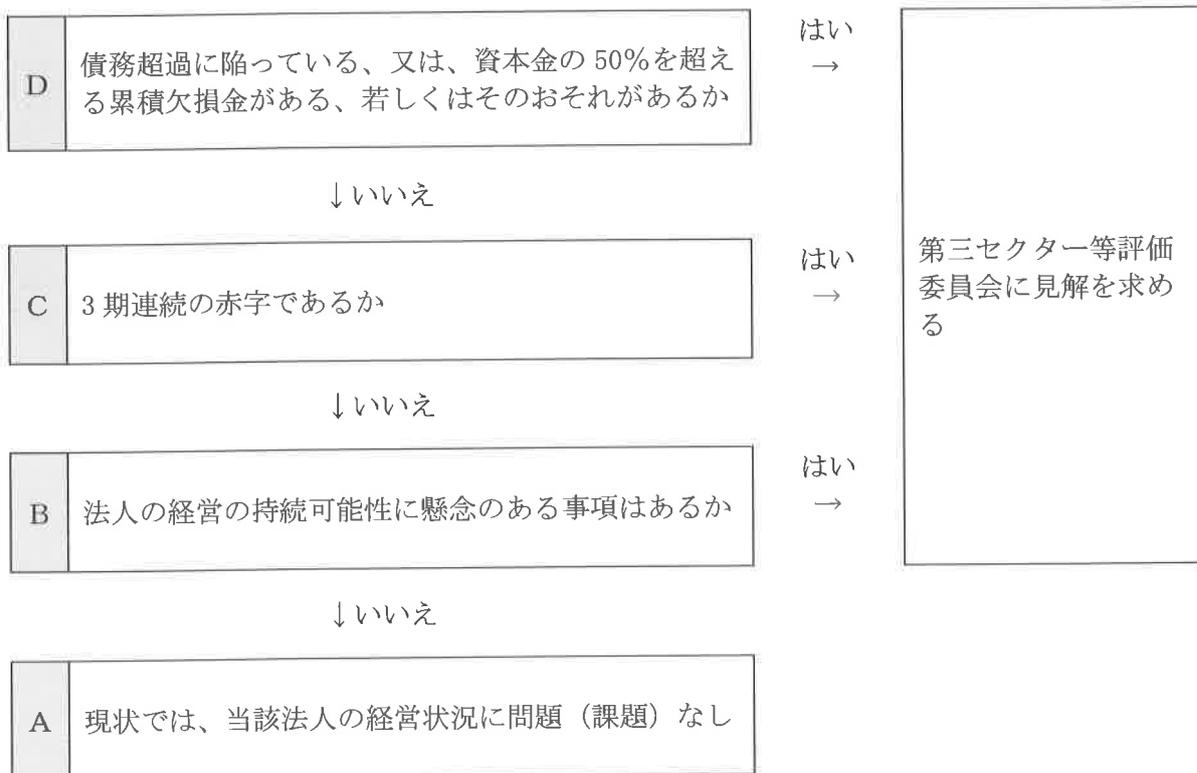
平成31年2月に、同社は更なる経営改善に向けた中期の「経営改善計画」を策定した。

- 経営理念
会社と社員は夢と愛を持ち、限りない感動と感謝の心を養い、自然を慈しみ、地域社会の発展に寄与する。
- 主な努力目標
 - ・ 人材育成 新たに統括支配人を置き、組織体制を強化する。
 - ・ 資産の適正化 在庫商品等の適正化について、現在の管理体制を継承し、食材仕入や消耗品購入については価格の低減に取り組む。
 - ・ 営業戦略 資金繰りが厳しい中、経費の削減だけでは限界があることから、売上高を伸ばすことを最優先とし、営業力を高める活動を行う。
 - ・ 情報管理 宿泊客、日帰り宴会など利用者の情報が多くあるため、個人情報管理を徹底するとともに、商圈や顧客の分析を行い、営業活動と連動させる。

9 令和3年度 経営状況の分析・評価

(1) 第三セクター等の経営状況の分析・評価のフローチャート

※「第三セクター等に対する関与方針」から抜粋



フローチャートによる評価基準		備考
A	経営状況に問題（課題）なし	引き続き経営努力を行う
B	法人の経営の持続可能性に懸念がある	経営健全化の可能性について、第三セクター等評価委員会に見解を求める
C	当期純利益が3期連続の単年度赤字である	
D	債務超過に陥っている、又は、資本金の50%を超える累積欠損金がある	

フローチャートによる評価	D	→ BからD評価の法人は(2)へ
--------------	---	------------------

【特記事項】

令和2年度末の純資産額が△45,391千円であり、債務超過に陥っています。

(2) 令和3年度 第三セクター等評価委員会の分析・評価

第三セクター等評価委員会の評価
<input checked="" type="checkbox"/> 課題あり <input type="checkbox"/> 課題なし
第三セクター等評価委員会の分析
【上記評価の理由】
<input type="checkbox"/> 会社全体 ① 期末の流動比率が11%と、資金繰りが逼迫している。資金繰りの悪化は、現場ホスピタリティを低下させ、ビジョンも目標も描けず、顧客へ魅力あるサービスを提供できなくなることにつながるため、資金調達の手段を検討する必要がある。
<input type="checkbox"/> ヨーデル金谷 ② 依然、他の飲食業と比較すると原価率などのコスト比率が大幅にかけ離れている。コストをかけるのであれば、他の飲食店との差別化を図り、それを強みとして発信していく必要がある。
【その他指摘事項等】
<input type="checkbox"/> ヨーデル金谷 ③ 設置目的のコンセプトや利用者に知ってもらいたい強みの部分を確実に発信すべきである。

(3) 分析・評価結果を受けての対応方針

第三セクターによる対応方針
<input type="checkbox"/> 会社全体 ① 金融機関からの借入による対応等を検討する。また、国県の補助金も活用しながら、設備を整え、新たに屋外バーベキューを提供するなど、顧客満足度の向上を図るとともに、経費削減の徹底等により、着実に黒字化することで、資金繰りを改善していく。
<input type="checkbox"/> ヨーデル金谷 ②③ 当施設は地産地消の推進を目的として整備された施設であり、設置目的に適した営業内容であるか再確認を行う。 矢代産米・桑取産棚田米やトマトについて、JAえちご上越や上越トマト部会とタイアップするなど、地産地消の取組を明確にし、提供するメニューやサービスと関連付けて、他の飲食業との差別化を図り、ホームページやSNS等での周知を徹底する。
市担当部署による対応方針
・ 設立当初より、資金繰りが厳しい状況である。資金調達については、原則、同社による対応を求めるが、必要に応じて指定管理料の支払い時期を柔軟に設定するなどキャッシュアウトしないよう同社と協議を進める。 ・ ヨーデル金谷の施設建設当初の意義について、設置目的を踏まえ、施設の在り方も含めどのようなコンセプト、営業戦略が適しているのか、同社と協議を進める。

10 令和2年度 第三セクター等評価委員会の分析・評価に対する対応状況

令和2年度 第三セクター等評価委員会の分析・評価【概要】
<p>○ 会社全体</p> <p>① 直近では黒字基調であるが、市の他の施設と比較して多額の指定管理料を受けての黒字であり、その是非を評価する必要がある。</p> <p>○ ヨーデル金谷</p> <p>② 利用者は減少しているものの、客単価の上昇による売上増加は評価できる一方、コスト比率は飲食業の平均的な比率と大きく離れており、改善の必要がある。</p> <p>③ F L R比率（売上に対する仕入原価・人件費・地代家賃の割合）の管理を徹底すべきである。</p> <p>④ お店のコンセプトを明確にし、独自性のあるメニューの提供を目指すべきである。</p> <p>○ くわどり湯ったり村</p> <p>⑤ 利用者が、現地まで時間と手間をかけて行くだけの価値、ブランドを創り出し、周知していくべきである。</p>
第三セクターによる対応状況
<p>○ 会社全体</p> <p>① コロナ禍により、宿泊・宴会需要が低迷する中、くわどり湯ったり村とヨーデル金谷の両施設において、利用状況に合わせて営業時間や休館日を設定するなど経費縮減に努めた。</p> <p>また、雇用調整助成金など国等の補助金を積極的に活用したこともあり、市からの指定管理料補填金をゼロとすることができた。</p> <p>○ ヨーデル金谷</p> <p>②③④ 人気のないメニューの絞り込みを行うとともに、巣籠もり需要の増加を受け、テイクアウトメニューの考案、及び、更なる収益向上に向けてプリンの製造販売を開始した。</p> <p>人件費の縮減により昨年度と比較し、F L R比率は改善したものの、未だ高水準にある。</p> <p>○ くわどり湯ったり村</p> <p>③ 売上向上のため、季節メニューの考案やポイントカードの導入などにより地元客の集客を図った。</p>
市担当部署による対応状況
<p>・ コロナ禍や大雪災害により、増収が見込めない中、経費圧縮を図るべく、地域の意見も踏まえ、くわどり湯ったり村を冬期間休止するなど施設運営形態について同社と協議し、経営改善に向けた取組を支援した。</p>

第 24 期 報 告 書

(令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日)

事業報告書

貸借対照表

損益計算書

株主資本等変動計算書

個別注記表

監査報告書

リフレ上越山里振興株式会社

第24期営業報告書

(令和2年4月1日～令和3年3月31日まで)

全社の概況

24期も前期に引き続き第三セクター経営健全化方針に基づいて作成された「経営改善計画書」をベースに取り組むところでした。しかし、新型コロナウイルス感染症の与えた影響は大きく、手探りの経営となりました。そうした中、資金繰りを円滑にするため政策金融公庫、新潟県の助成制度を活用して2,000万円の借入を行い、4月から雇用・緊急雇用安定助成金制度も申請して18,701万円の助成を受けて全従業員の雇用を確保しました。その他、持続化給付金200万円など各種給付金の申請を行い、総額で22,251万円の給付を受けました。また、市による指定管理者への損失補填は一時的に補填を受けたものの最終黒字決算となったため全額返金の処理を行いました。

3月には長期借入金4,200万円(2口3,000万円1,200万円)を完済しました。

当期の施設別営業概況は次のとおりです

◆くわどり湯ったり村(ゆったりの家含む)

コロナウイルス感染症の影響により、4月14日から5月31日まで緊急事態宣言により休館、11月11日から3月31日まで閑散期であることから土日祝日のみの営業としました。また、大雪の影響にて1月9日から17日の土日も休館を余儀なくされました。

期の実売上は32,228千円前年比46.3%で内訳は宿泊44.6%、日帰り宴会24.7%、お風呂54.9%、レストラン63.7%でした。宿泊では上越市補助金制度、県民割引、GOTOキャンペーンなどすべてから活用しました。日帰り宴会では売上の柱となっていた老人会様が1件のみで感染症まん延の影響がまともに出ました。レストランは季節のメニューや日替りなどメニューを増やしたこととお食事ポイントカードの定着もあり利用率で70%を超える月が増えてきました。

大幅な減収で営業利益は▲12,675千円でしたが、雇用・緊急雇用調整助成金を4月から受給したことより経常利益は黒字となりました。

施設内外周辺での管理と環境整備は「湯ったり村応援隊」による2回の活動と職員の休日ボランティアにより良い状態を維持しています。

◆ヨーデル金谷

売上の対前年比を分析すると全国の新型コロナウイルス感染症(以下コロナ)の感染者数や国や自治体のコロナ経済対策と相関関係にあり、まさにコロナに翻弄された1年でありました。

具体的には1年が大きく4段階に分かれており、期間・事象・期間平均前年比は次の通りです。

期間	期間内の事象	期間売上の平均前年比
4・5月	緊急事態宣言発令ショック	31.3%
6・7・8月	感染者と混乱の減少・対策情報増	73.0%
9・10・11月	GoToEat等のコロナ経済対策	95.8%
12・1・2月	感染者再増加(宴会消滅)・豪雪	66.9%

3月は前年比99.7%と昨年同月にコロナ禍発生を踏まえると売上動向も一巡したと思われます。今年度は営業的にやれることが限られておりましたので①的確な感染症対策の実施と対策優良店として認知してもらうこと②テイクアウト商品の発売(ロコモコ)③価格の改定による利益率の改善等に取り組みました。急な売上の乱高下に感染症対策が上乘せされ業務多忙を極めまし営業利益は▲320万円となりましたが雇用調整助成金等により経常利益は黒字となりました。

◆施設別売上高・営業利益

(単位：円)

	全社計	くわどり湯ったり村	ヨーデル金谷	ゆったりの家
売上高	106,202,607	63,828,742	41,543,865	830,000
営業利益	▲15,873,769	▲12,661,165	▲3,197,782	▲14,822

会社の概要

(1) 主要な事業内容

- ・ 上越市の所有若しくは管理する不動産及び温泉保養施設、農林水産加工施設、地域食材供給施設の管理運営に関する事業。
- ・ 飲食店の経営
食料品、酒類、清涼飲料、観光土産品、たばこ、医薬品、新聞、書籍及び日用品雑貨の販売
- ・ 文化振興に関する事業

(2) 株式の状況

- ・ 会社が発行する株式の総数 2,400株
- ・ 発行済み株式総数 2,400株
- ・ 当期末株主数 130人
- ・ 株主の内訳（令和2年3月31日現在）

株主名	持ち株数	持ち株比率
上越市	2,106	87.8%
えちご上越農業協同組合	100	4.2%
くびき野森林組合	20	0.8%
頸城自動車株式会社	20	0.8%
協同組合ウッドワーク	10	0.4%
上越市漁業協同組合	10	0.4%
桑取川漁業協同組合	10	0.4%
一般株主	124	5.2%

(3) 事業所の状況

- ・ くわどり湯ったり村 上越市大字皆口601番地
- ・ ヨーデル金谷 上越市大貫2丁目17番40号

(4) 従業員の状況 (令和2年3月31日現在)

- ・ 男性 11名 (内 臨時 4名)
- ・ 女性 12名 (内 臨時 9名)
- ・ 合計 23名 (内 臨時 13名)

(5) 主要な借入先

えちご上越農業協同組合 (当座貸越)

令和3年3月31日現在 39,901,157円

上越信用金庫 10,000,000円 (長期借入)

日本政策金融公庫 10,000,000円 (長期借入)

(6) 取締役及び監査役 (令和3年3月31日現在)

地 位	氏 名	担当又は主な職業
代表取締役	平井 民夫	桑取川漁業協同組合 代表理事組合長
取 締 役	米山 均	協同組合ウッドワーク 理事長
取 締 役	仲田 紀夫	上越市漁業協同組合 代表理事組合長
取 締 役	大原 正夫	桑取地区町内会長協議会 会長
取 締 役	山口 茂幸	金谷地区町内会長会 会長
取 締 役	笹原 智子	地域代表
取 締 役	飯塚 和弘	地域代表
取 締 役	斉藤 豊	地域代表
取 締 役	畑 正子	リフレ上越山里振興株式会社 参与
監 査 役	坪田 剛	

損 益 計 算 書

自 令和 2年 4月 1日 至 令和 3年 3月 31日

(当期累計期間)

リフレ上越山里振興株式会社

(単位：円)

科 目	金 額	
【売上高】		
宿泊売上	12,088,432	
日帰売上	2,793,302	
風呂売上	5,146,833	
レストラン売上	42,628,124	
売店売上	2,583,020	
チケット売上	1,054,556	
その他売上	39,030,000	
ブライダル売上	878,340	106,202,607
【売上原価】		
期首商品棚卸高	353,657	
厨房仕入	20,995,159	
飲料仕入	3,625,556	
売店仕入	1,225,565	
その他仕入	551,021	
期末商品棚卸高	290,857	26,460,101
売上総利益		79,742,506
【販売費及び一般管理費】		95,616,275
営業利益		△15,873,769
【営業外収益】		
受取利息	50	
受取配当金	400	
雑収入	23,559,422	23,559,872
【営業外費用】		
支払利息	923,106	923,106
経常利益		6,762,997
【特別損失】		
固定資産除却損	777,000	777,000
税引前当期純利益		5,985,997
法人税及び住民税額		75,685
当期純利益		5,910,312

販売費及び一般管理費明細書

自 令和 2年 4月 1日 至 令和 3年 3月 31日

(当期累計期間)

リフレ上越山里振興株式会社

(単位：円)

科 目	金 額
給与手当	31,234,399
臨時雇入費	14,690,143
法定福利費	5,517,914
福利厚生費	182,965
消耗品費	2,522,179
事務用品費	651,668
賃借料	2,690,812
保険料	2,040,037
修繕費	1,253,374
租税公課	72,350
減価償却費	1,438,374
通信費	505,583
水道光熱費	11,618,727
支払手数料	433,306
荷造発送費	14,700
広告宣伝費	670,749
接待交際費	19,091
イベント費	39,850
施設維持管理費	7,264,168
リネン費	951,340
燃料費	10,099,500
車両掛費	847,741
新聞図書費	108,972
諸会費	107,500
会議費	212,732
雑費	428,101
販売費及び一般管理費合計	95,616,275

株主資本等変動計算書

自 令和 2年 4月 1日 至 令和 3年 3月 31日

(当期累計期間)

リフレ上越山里振興株式会社

(単位：円)

科 目	変 動 事 由	金 額
【株主資本】		
【資本金】	当期首残高及び当期末残高	6,000,000
【利益剰余金】 (その他利益剰余金)		
繰越利益剰余金	当期首残高	△57,301,521
	当期変動額 当期純利益	5,910,312
	当期末残高	△51,391,209
利益剰余金合計	当期首残高	△57,301,521
	当期変動額	5,910,312
	当期末残高	△51,391,209
株主資本合計	当期首残高	△51,301,521
	当期変動額	5,910,312
	当期末残高	△45,391,209
純資産合計	当期首残高	△51,301,521
	当期変動額	5,910,312
	当期末残高	△45,391,209

個 別 注 記 表

自 令和 2 年 4 月 1 日

至 令和 3 年 3 月 31 日

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法を採用しております。

固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

法人税法の規定に基づく旧定額法および定額法を採用しております。

ただし、取得価格10万円以上20万円未満の資産については、法人税法の規定に基づく3年均等償却を採用しております。

無形固定資産

ソフトウェアは社内における利用期間（5年）に基づく旧定額法を採用しております。

リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

II. 貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額

41,286,699円

消費税及び地方消費税の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式を採用しております。

III. 株主資本等変動計算書に関する注記

発行済株式の種類及び総数に関する事項

発行済株式

普通株式（発行済株式）

当期末株式数（発行済普通株式）

2,400株

IV. リースにより使用する固定資産に関する注記

その他リース物件に係る重要な事項

リース契約により使用している固定資産

貸借対照表に計上した固定資産のほかリース契約により使用しているものは次のとおりです。

車輛運搬具 3台

リース期間 3年及び1年

当期のリース料

1,471,200円

工具器具備品 3台

リース期間 5年

当期のリース料

638,295円

V. 1株当たり情報に関する注記

1株当たりの純資産額

-18,913円

1株当たりの当期純利益金額又は当期純損失金額

2,462円

監査報告書

リフレ上越山里振興株式会社の令和2年4月1日から令和3年3月31日までの第24期事業年度の会計帳簿、貸借対照表、損益計算書、事業報告書、株主資本等変動計算書、個別注記表について監査いたしました。が、いずれも適法かつ妥当であることを認めます。

令和3年 5月 24日

監査役

坪 田 岡 

25 期事業計画

1 施設管理業務の実施計画

コロナウイルス感染症予防対策は各業種のガイドラインに沿って管理を行い、施設の管理業務は「コンプライアンス」を全ての判断基準として各施設と温浴設備、消防設備、防火管理、衛生管理、車両運行管理、雇用管理、金銭出納（経理）管理を行います。従業員一人一人が「未然防止型」の考え方で利用者、従業員に事故など起きないように務める。また、役員会、経営委員会での意見交換を活発化させて良いことは更に進めていき、改善が必要とされる事案に関しては大小を問わず関係各所と協議を行い、公の施設として市民から親しんで頂ける施設運営を目指します。

(1) 会社全般

前期同様に新型コロナウイルス感染症による終息が見えない中での計画作成となる。

- ① 経営管理において柔軟さとスピード感をもって対応するため、市場の動向など情報収集を行い、月次試算表をもとに状況を見極めながら、役員会、経営委員会、関係各所の意見を踏まえ進めていく。
- ② 会社運営、施設運営における課題や外部環境の変化など問題が発生した場合は関係各所と連携を密に取り、課題の解消に努める。
- ③ 地域の一員として自覚を持ち、地域社会に貢献できる会社を目指す。

(2) くわどり湯ったり村

① 情報発信の強化

ホームページを改修したことにより更新が容易になったこととフェイスブックを有効に活用するため選任者を定めて定期的に更新する。また、月間カレンダーの定期発行と折込みエリアの拡大を検討します。（現状は谷浜地区のみ）
広告会社や広報有料広告を活用して露出を高めます。

② 新規商品の売込み

コロナ禍対策として個室休憩や小グループでの利用を高めるための商品開発を行う（例 お食事付き個室休憩プラン）また、テイクアウトメニュー、折詰、晴れの日お弁当などにも積極的に取り組む。

③ 宿泊プラン（価格）の見直し

現在の 3 コースを一つにして追加のオプションメニュー（カニ、牛ステーキ、等）を売込み単価アップを図る。この他に送迎についても見直しが必要（宿泊 2 名様以上無料となっているが、個々の自宅まで行くことが多く経費増となっている）。

④ レストラン利用率向上の取組み

前期は利用率 60% を目標に季節のメニューなど取組み、1 月は 70% に到達する。
地元食材を使い、他社では出せない地域の特色を活かしたメニューの開発を行う。

⑤ 施設周辺の環境整備と活用

湯ったり村応援隊の協力により施設遊歩道や 1.5 キロの散策コースも再整備を行い
散策が出来るようになりましたので「ブナ林」「バードウォッチング」「ワンちゃん
散歩道」として山里の癒しを提供します。

⑥ 新規事業の取組み（案）

バーベキューやオートキャンプ場としての活用（旧ゲートボール場）
ミニドックラン（ゲートボール場奥ふれあい広場）

(3) ヨーデル金谷

① コロナ禍以前の営業 3 本柱「一般営業」「宴会」「ウェディング」のうち宴会とウェ
ディングの獲得は今後とも見込めないことから損益構造の再構築が必要と考えて
います。具体的には「一般営業での生産性向上」「新しい営業の柱の構築」の 2 点
について対応してまいります。

② 一般営業での生産性の向上は

1. 「メニューを絞り込む」これはハンバーグなどの主力商品の販売シェアをさらに
上昇させ調理工程及びサービス工程において現状の複雑なオペレーションを軽減
し生産性向上を目指すものです。販売シェア向上のため広告などの露出強化及び販
売数の少ないメニューの削除などを行う。

2. 「メニュー価格改定」4 月からの内税表示義務に合わせ原価率改善に寄与するよ
うな価格改定を行う。

③ 新しい営業の柱の構築は

3. 新規に導入したコンベクションオーブンを利用し、プリンなどの製菓及び総菜な
どの「店頭販売」「インターネット」販売を開始する。まずは店頭販売を常時行う
体制を整える。またインターネット販売サイトの基本構築は終了しているので、専
門業者などの力も借りて「売れるサイト」へのテコ入れを行う。

4. 店頭販売・ネット販売等の環境が整えば、市や県などのショッピングサイトや組
合組織などへの卸業務等への進出も検討する。

(4) ゆったりの家

① 地域団体や町内会などと連携、西部中山間地域の豊かな自然と文化に触れる憩いの
場を提供するために適正な維持管理をおこなう。

2 施設の利用計画

施設管理業務に掲げた売上増強等に取り組み、施設の利用促進を図る。

(1) 目標とする

(単位：人)

区 分		令和3年
1	くわどり湯ったり村	37,000
2	ヨーデル金谷	23,000
3	ゆったりの家	400
リフレッシュビレッジ施設合計		60,400

3 管理に係る収支計画

- (1) くわどり湯ったり村 …… 別紙1-①のとおり
- (2) ヨーデル金谷 …… 別紙1-②のとおり
- (3) ゆったりの家 …… 別紙1-③のとおり

第25期 事業計画

損益計算書

自令和3年4月1日 至令和4年3月31日

くわどり湯ったり村

(単位：千円)

科目	第25期計画	備考
売上高	86,500	
宿泊売上	23,500	
日帰売上	7,000	
風呂売上	7,700	
レストラン売上	10,000	
売店売上	5,500	
ブライダル売上	0	
チケット売上	1,000	
その他売上	31,800	上越市委託金 31,800千円
売上原価	18,200	
外注費	0	
厨房仕入	11,500	
飲料仕入	2,700	
売店仕入	4,000	
その他の仕入	0	
売上総利益	68,300	
販売管理費及び一般管理費	67,917	
給与手当	17,000	
臨時雇入費	9,000	
賞与	0	
退職金	0	
法定福利費	2,800	
福利厚生費	200	
消耗品費	1,800	
事務用品費	500	
賃借料	2,500	
保険料	1,300	
修繕費	1,000	
租税公課	50	
減価償却費	850	
通信費	350	
水道光熱費	10,000	
支払手数料	250	
荷造発送費	5	
広告宣伝費	300	
イベント費	0	
施設維持管理費	5,000	
リネン費	1,500	
燃料費	12,000	
車両掛費	1,000	
新聞図書費	62	
諸会費	100	
会議費	100	
打合費	0	
雑費	250	
営業利益	383	
営業外収益(雑収入)	3,000	
営業外費用(支払利息)	400	
経常利益	2,983	
税引前当期利益	2,983	
法人税及び住民税	0	
当期利益	2,983	

第25期 事業計画

損益計算書

自令和3年4月1日 至令和4年3月31日

ヨーデル金谷

(単位：千円)

科目	第25期計画	備考
売上高	46,400	
宿泊売上		
日帰売上		
風呂売上		
レストラン売上	40,000	
売店売上		
ブライダル売上		
チケット売上		
その他売上	6,400	上越市委託金 6,400千円
売上原価	14,500	
外注費		
厨房仕入	12,500	
飲料仕入	2,000	
売店仕入		
その他の仕入		
売上総利益	31,900	
販売管理費及び一般管理費	31,709	
給与手当	16,500	
臨時雇入費	3,000	
賞与	0	
退職金	0	
法定福利費	2,400	
福利厚生費	50	
消耗品費	800	
事務用品費	200	
賃借料	300	
保険料	750	
修繕費	100	
租税公課	100	
減価償却費	550	
通信費	200	
水道光熱費	3,700	
支払手数料	300	
荷造発送費	0	
広告宣伝費	350	
イベント費	100	
施設維持管理費	1,800	
リネン費	30	
燃料費	0	
車両掛費	135	
新聞図書費	24	
諸会費	60	
会議費	80	
打合費	0	
雑費	180	
営業利益	191	
営業外収益 (雑収入)	500	
営業外費用 (支払利息)	400	
経常利益	291	
税引前当期利益		
法人税及び住民税		
当期利益	291	

第25期 事業計画

損益計算書

自令和3年4月1日 至令和4年3月31日

ゆったりの家

(単位：千円)

科目	第25期計画	備考
売上高	830	
宿泊売上	0	
日帰売上	0	
風呂売上	0	
レストラン売上	0	
売店売上	0	
ブライダル売上	0	
チケット売上	0	
その他売上	830	上越市委託金 830千円
売上原価	0	
外注費	0	
厨房仕入	0	
飲料仕入	0	
売店仕入	0	
その他の仕入	0	
売上総利益	830	
販売管理費及び一般管理費	825	
給与手当	0	
臨時雇入費	700	
賞与	0	
退職金	0	
法定福利費	0	
福利厚生費	0	
消耗品費	0	
事務用品費	0	
賃借料	0	
保険料	65	
修繕費	0	
租税公課	0	
減価償却費	0	
通信費	0	
水道光熱費	30	
支払手数料	0	
荷造発送費	0	
広告宣伝費	0	
イベント費	0	
施設維持管理費	30	
リネン費	0	
燃料費	0	
車両掛費	0	
新聞図書費	0	
諸会費	0	
会議費	0	
打合費	0	
雑費	0	
営業利益	5	
営業外収益(雑収入)	0	
営業外費用(支払利息)	0	
経常利益	5	
税引前当期利益	5	
法人税及び住民税	0	
当期利益	5	